

一般社団法人日本解剖学会 2023(令和5)年度第2回理事会議事録

日 時：2023(令和5)年3月17日(金) 16:50～18:30

場 所：東北大学星陵キャンパス（医学部6号館カンファレンス室）

出席者：渡辺 雅彦（理事長）、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、大和田 祐二、天野 修、阪上 洋行、野田 泰子、堀 修、尾崎 紀之、金井 克光、島田 昌一、和中 明生、大内 淑代、海藤 俊行、菱川 善隆、城戸 瑞穂、徳田 信子（以上、理事）、岡部 繁男、八木沼 洋行（以上、監事）、市村 浩一郎、大野 伸彦（以上、常務幹事）、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：海藤 俊行

I. 渡辺雅彦理事長および大和田祐二第128回総会・全国学術集会会頭から挨拶があった。

II. 議事録署名人の確認

定款第39条に基づき、岡部繁男監事、八木沼洋行監事が議事録署名人として選任された。

III. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

(1) 2023(令和5)年度第1回理事会（2023(令和5)年1月21日開催）議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、年会費を3年間未納している会員（34名）の除名について報告された。

(2) 教授就任による代議員承認について

資料に基づき、教授就任に伴う以下の1名の代議員申請者について、常務理事会で承認されたことが報告された。

中根 裕信 先生（高知大学 教育研究部医療学系基礎医学部門 解剖学講座 教授 2023年1月1日就任）

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会第21期第2回運営委員会が3月27日に開催予定であることが報告された。

(4) 教育委員会「教育アンケート」について

資料に基づき、解剖学教育に関するアンケート調査をオンラインで実施し、3月14日に回答を締め切ったことが報告された。

(5) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集内スケジュールの確認

資料に基づき、第128回総会・全国学術集内における各種会議の日程が確認された。

(6) 中国・四国支部次期理事候補者辞退による対応について

資料に基づき、海藤俊行氏（鳥取大）から次期理事就任を辞退されたい旨の申し出があり、これに伴い、役員選出細則第5条の規定により次点者である大内淑代氏（岡山大）が繰り上げ当選となったことが報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 会員ページ/メディカルオンライン閲覧用ID/パスワード：周知方法の変更について

日本解剖学会ホームページ「会員専用ページ」ならびにメディカルオンライン「解剖学雑誌」の閲覧に必要なIDとパスワードを3月初旬から口腔保健協会会員管理システム「OHASYS」にてメール配信する方式へ変更となったことが報告された。

(2) 学術論文データベース「EBSCOhost」への解剖学雑誌収載について

資料に基づき、編集委員会で検討を行うことが報告された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、琉球大・高山千利先生を会頭とし、2024年3月21日（木）～23日（土）に沖縄文化芸術劇場 なのはと、ホテルコレクティブ（沖縄県那覇市）において開催されることが報告された。

(2) 認定二級技術者審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会における審査の結果、1名の受験者が合格と判定されたことが報告された。

(3) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会定例評議会（2月22日開催、寺田常務理事出席）、日本医学会連合臨時社員総会（2月10日開催、木山常務理事出席）、日本医学会分科会用語委員会（1月26日開催、尾崎日本医学会医学用語委員会委員出席）の内容が報告された。

(4) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、1月31日締切としてアンケートが実施された学術集会デジタルコンテンツのアーカイブ化に関連し、解剖学会としてはアーカイブ化する上で問題が多い旨を回答したこと、他学会の取り組みを参考に検討していくことが報告された。

(5) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、評議員が次期執行部に対応して変更になること、2023年3月30日に評議員会が開催予定であることなどが報告された。

(6) 「若手研究者の会」報告

資料に基づき、2023年3月17日に春の学校を開催すること、2023年3月19日の午後にティータイム研究者交流会を開催予定であること、次期若手育成委員会委員として2名の推薦を行ったことなどが報告された。

(7) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、第21回国際解剖学会議（21st Congress International Federation of Associations of Anatomists）のプロモーション活動として、Im Joo RHYU氏、In-Beom KIM氏の2名が今回の全国学術集会に参加、定時社員総会および懇親会で挨拶とアナウンスを頂く予定であることが報告された。また、IFAAに所属する学会員より、Terminologia Anatomica 2 (TA2)について非公式な意見を求められていた件で、資料に基づき用語委員会より答申が出されたことについて報告があり、またASI特集号でも取り扱うことが報告された。

(8) その他

資料に基づき、日本生理学会大会で開催される日本生理学会との連携シンポジウムを日本生理学会他学会連携委員会の解剖学会担当が企画している現状について報告があった。2025年の第130回総会・全国学術集会が日本薬理学会を含めた3学会合同大会として開催されることから、今後の連携体制についてこれらの学会と検討する方針が議論された。

4. 会計報告

(1) 2023(令和5)年度中間決算書について

資料に基づき、2023（令和5）年度中間決算書（1月1日～2月28日）について報告があった。

(2) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、各外科専門領域でのレビューと修正後にCST推進委員会で審査されるようになった状況、ならびにCST動画のインターネット上へのアップロードに関して行われた注意喚起について報告された。

(2) 解剖体の取り扱いに関わる不適切事案対応と日本解剖学会・篤志献体全国連合会共同声明文発出について

資料に基づき、関連5団体、ならびに解剖学会員、篤志解剖全国連合会から団体部会、大学部会など、各関連機関、関係者への発出を行ったこと、ならびにその内容が報告された。

(3) その他

特になし。

V. 審議事項

1. 2022(令和4)年度決算および業務監査報告の件

資料に基づいて説明があり、審議の結果、了承された。合わせて、監査報告とともに終身会費として納入された特定資産の使途の原則の作成、ならびに解剖学教育体制の経年推移の記録に関する提言があったことが報告された。

2. 2023(令和5)年度予算および事業計画の件

資料に基づいて説明があり、審議の結果、了承された。

3. 2023(令和5)年度定時社員総会理事会資料と議長の確認

資料に基づき、議長選出から総会の流れおよび内容について説明があり、了承された。

4. 諸経費改定のお願いについて

資料に基づき、諸経費請求額の改訂について説明があり、審議の結果、了承された。

5. その他

特になし。